令和3年3月23日に第2回スタッフセミナーが開催されました。

今回は管理栄養士の柳町子先生より、高齢者の食事を支えると題し、事例を交えながら栄養管理の必要性や経口摂取の意義、認知症高齢者への対応方法や在宅療養者への課題など様々な話をきくことが出来ました。印象に残っているのはそれぞれの認知症の種類によって食事対応や摂取問題が異なりそれぞれの対応策があることでした。食事環境や姿勢はもちろんですが、テーブルや盛り付けの工夫、食事摂取量の捉え方など在宅療養を支援していくなかでとても参考になり実践していきたいと思いました。

また、とろみ使用時の表現の統一など自分の知らないことも多くあり、高齢者の栄養管理について学び理解を深めることが出来ました。

　あさくら地域では在宅療養の高齢者に配食サービスが浸透し活用されています。しかし、嚥下訓練食や治療食などは届きにくい現状もあります。入院や入所者だけではなく在宅療養を行う高齢者にも嚥下訓練食や治療食などの配食サービスが広がっていくことを願っています。

今回、このような研修の場を与えて頂きありがとうございました。